

第3学年 総合的な学習の時間指導案

指導者 今井 良行

1 単元名

世界と友だち ～ニュージーランド留学生となかよくなるう～

2 単元について

現代社会は、国と国との交流が盛んに行われている。物資の輸出入をはじめとして、留学生や外国への旅行など物以外にも様々な接点もたれている。これからの21世紀を生きる子どもたちにとって外国の人々と交流する機会はますます増えてくる。国際社会に生きる日本人として他国を理解する態度や心が育まなければならない。

本校では、毎年交流行事としてニュージーランドからの留学生を招き、全校で歌の発表などを行っている。3年生から、学級単位での交流する時間もあり、児童たちも非常に楽しみにしている。また、3・4年生は日本人講師を招いての英語活動も行われている。

本単元では、ニュージーランドや世界の国々の遊びについて調べたり考えたりする活動を通して、外国への興味・関心を深め、世界には自分たちが知っている遊び以外にもたくさんの遊びがあることに気付かせる。ニュージーランド交流会に向けては、日本の昔遊びを楽しむために遊び方の工夫を表現しようとする態度をねらっている。

本学級の児童は、2年生の生活科で日本の昔遊びに親しむ体験をしている。その活動を振り返りながら、ニュージーランド交流会で昔遊びを紹介するためにどのようにしたらよいかを考えていく。そして、交流会でニュージーランド留学生と昔遊びを楽しむための遊び方を考える場を設ければ、自分の考えや思いを表現しようとする態度が育つと考える。

3 児童の実態について（男子13名 女子17名 計30名）

本学年は4学級で編成されており、この4月にクラス替えを行った。本学級の児童は、男女の仲も良く、外で元気よく遊ぶ姿が見られる。学習中は、全体的に与えられた課題にはよく取り組んでいる。学習面で大きく落ち込む児童はいない。しかし、集中力が低い児童が数人いる。すぐに違う事柄に意識がそれたり、自分の興味を示さないものには一切手をつけなかったりする児童もいる。また、自己中心的な児童が多く、周りの児童への配慮のない言動が見られる。日常生活における友だちとの会話では、聞き手が一方的に自己解釈してしまうことが多く、疑問や思いがあっても言葉にできない児童が見られる。ニュージーランド留学生と仲良くなる活動を考えさせていく中で、周りの児童と協力する大切さや喜びを知り、自分の疑問や感想を表現する態度を身に付けさせたい。

4 単元のねらい

- 交流会で留学生と楽しく活動できるように遊ぶ方法を考えることができる。
- 日本の昔遊びの楽しさを工夫して表現し、伝えることができる。

【単元を通して児童に身に付けさせたい力】

関心・意欲	課題設定・解決能力	情報収集力・表現力	生活実践力
<ul style="list-style-type: none"> ・活動に興味・関心をもってすすんで取り組むことができる。 ・友達と協力しながら学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を見つけその解決の方法を自分なりに考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや経験を、相手によく伝えるように、分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたり、考えたりする活動から友達と協力することを知り、生活に活かすことができる。

5 活動計画（12／30時間）

学習過程	主な学習活動	指導上の留意点	時数
興味関心をもつ	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ニュージーランド留学生となかよくなる。～交流会の準備をしよう～ </div> <p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランド交流会の内容を知り、活動の見通しをもつ。 ・ニュージーランドについて知っていること、聞いたことがあることを話し合う。 ・ニュージーランドや世界の国についてミニゲームをし、イメージとは違った面があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のNZのイメージを明確にするために事前にウェビングをしておく。 ・昨年のニュージーランド交流会の内容や様子を伝え、活動の見通しをもてるようにする。 ・5カ国の人の写真から受けるイメージを話し合わせることで、イメージと現実の違いに気付かせる。 	2
	<p>2 興味のある国の遊びを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には自分たちの知らない遊びがあるということを知るために、興味のある国の遊びを調べる。 ・お互いの調べたことを情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の遊びを調べることで日本の昔遊びが紹介しやすいものであることに気付かせる。 	4
課題を設定する	<p>3 留学生と楽しく遊ぶための日本の昔遊びを考える。</p> <p><例></p> <p>けん玉 コマ</p> <p>すごろく おはじき</p> <p>あやとり 折り紙</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを考えやすくするため、事前に生活科での既習経験を想起させる。 	2

	4 昔遊びをして、グループを決める。 ・留学生と一緒に楽しく遊べそうな昔遊びを選ぶ。	・児童の興味をもとにグループをつくる。	1
課題を追究する	5 グループ毎に楽しく遊ぶための方法を考える。 ・それぞれのグループでニュージーランド留学生にやり方を伝えるためにどのようにすればよいか考える。 ・グループ毎にどのように遊ぶのか意見交換し、自分たちの方法について考えてまとめる。	・前時までの、学習内容を振り返って考えることができる掲示物を準備する。	4 (本時 3/4)
まとめる	6 これまでの学習を振り返る。 ・次時への学習に活かせるようにする。	・交流の方法をまとめ、交流会への意欲を高める。	1
課題を設定する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ニュージーランド留学生と仲良くなろう ～3の2にお迎えしよう～ </div> 7 前時までの学習をふまえ、ニュージーランド交流会で行う活動について確認する。	・前時までの活動を振り返り、交流内容を確認するようにする。	1
表現する	8 交流会の準備をする。 ○日本人講師による英語活動を行う。 ・英語の歌やジェスチャーに親しみ、交流会で発表できるようにする。 ・遊ぶ内容を最終確認する。	・交流会が充実するように簡単な英語表現や歌を覚えられるように支援する。 ・日本人講師と連携を取り、進めていく。	1 2
	9 ニュージーランド交流会に参加する。 ・これまでの学習を活かして昔遊びを紹介する。 ・留学生と仲良く遊ぶ。	・みんなが参加できるように戸惑っている児童には、学習したことを振り返り活動するように声かけをする。	1
まとめる	10 交流会を振り返る。 ・次年度の交流会に向けて活動を振り返る。	・次年度に向けて交流会を振り返り、意欲を高めるようにする。	1
	11 活動全体の振り返り ・最初に決めた観点から自分がどのように変わったのか、振り返る。	・活動開始時に書いたワークシートを準備し、観点に沿って振り返るように助言する。	1

6 研究主題との関連

《視点1 人とかわりながら、自分を見つめ、考える学習》

○ グループ活動による友だちとのかかわり

本単元では、課題追究の方法として、グループ内での相談の場や、グループ同士の発表を見合う場を設定する。グループは主に生活科での昔遊びの内容を基にして決定する。グループ内、グループ同士での交流内容の相談をしたり、それを見合ったりする活動を通して、交流内容の深まりや、友だちとの協力する態度が身につくと考えた。そして、少人数でのグループ編成により、児童一人一人に役割をもたすことで、活動する回数を重ねることができ、表現力の向上につながると考えた。

《視点2 子ども自身が、自分の変容に気が付く学習》

○ 自己評価、振り返りカードの活用

本単元の最初に、児童に総合的な学習の時間に身に付けさせたい力を説明する。それをもとに、一人一人が今回の学習で自分が身に付けたい力を設定する。学習中は振り返りカードで毎時間の自分を確認していく。単元の最後には自分にどんな力が付いたかを書くようにする。このような自己評価をすることによって、自身の変容に気付かせたい。

7 本時の展開

(1) 本時の目標

○留学生と楽しく遊ぶ方法について、考えたことを表現できる。

○進んで楽しく遊ぶための工夫について、他グループと意見交換することができる。

(2) 展開 (12 / 30)

学習活動	指導上の留意点と評価 (◎)
1 前時までの学習を振り返る。	○前時までのアドバイスカードを基に、グループの意欲付けをする。
2 本時の活動内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">交流会で楽しく遊ぶために、伝え方を工夫しよう。</div>	○交流会で、留学生に遊びの楽しさを伝えることを確認する。
3 前時までに他グループから出た良かった点、改善点をもとにグループで今日のめあてを確認する。	○前時のアドバイスカードを見て考えることができるように掲示板をグループ毎に置く。
4 めあてに向けてグループ毎に昔遊びの説明練習をする。 ・説明が難しいね。 ・遊び方がわからないな。 ・留学生も成功したら楽しいだろうな。 ↓ ・実際にやってみよう ・やり方を見やすくしてみよう ・コツを教えてあげよう	◎留学生と楽しく遊ぶ方法について、考えたことを表現することができる。 ○説明の難しい場合は、実際に遊んでみるように助言する。 ○遊びに夢中になってしまった児童には、相手が楽しめるか考えるように助言する。

<p>5 グループ毎に考えた、楽しく遊べそうな方法を発表する。 (6グループ)</p> <p>前半 A→B C→D E→F 後半 B→A D→C F→E</p> <p>○観点をもとに相手グループの良かった点、改善点を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線 ・ジェスチャー ・資料 ・分かりやすさ ・楽しさ <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実演しているから分かりやすいよ ・細かい手の動きが見えて分かりやすかったよ ・コツを教えてくれたから成功できたよ ・グループの友だち同士で向き合っているからもっと相手を見たほうが良いよ <p>6 本時の活動を振り返る。</p> <p>○交流会で楽しく遊べる発表を考えたことができたか振り返る。</p>	<p>◎進んで楽しく遊ぶための工夫について、他グループと意見交換することができる。</p> <p>○相手グループに意見をもたせるため、絵で表す等、資料が完成していなくてもできる限り発表するようにする。</p> <p>○意見交換を充実させるため、思ったこと、感じたことをアドバイスカードの一つでも多く書くようにする。</p> <p>○相手に対する注意ではなく、次に活かせるような内容を書くように助言する。</p> <p>○否定的な意見には、より良い助言をするための言葉かけになるように助言の手本を見せる。</p> <p>○次時の活動を確認する。</p>
--	---